

寺尾第二地区民生委員児童委員協議会の活動(2022年度4月～7月)

地域福祉の増進に努めるものとして・・・

7月3日(日)3年ぶりに“社会を明るくする運動”が寺尾第二地区連合会の主催で開催されました。猛暑が続いていた時期でしたが、幸い当日は薄曇りとなり、久々の地域行事ということもあり、多くの方々が遊水地がにぎわいました。

寺尾第二地区民生委員児童委員協議会も地区社協の一員として、毎回この活動に賛同し、参加しています。今回は、地域から提供して頂いた手作り品や民生委員が作った布草履、アクセサリーなどを販売いたしました。



販売担当の民生委員



「お母さんへのプレゼントにする」と、購入してくださったお子さんの姿もありました♡



多世代交流会 学んでご飯に

鶴見区長さんがやってきた!



休止していた「学んでご飯」を6月から再開しました。東高校の生徒さんは23名、小学生は5名の参加がありました。そこに鶴見区の渋谷区長が見学に来られました。



区長とジャンケン大会

高校生は、こどもたちと勉強してくれるグループと、行事の装飾を作るグループに分かれて、それぞれ熱心に取り組んでくれました。

お楽しみのご飯は、1年ぶりに地域のヘルスメイトさんが作ってくださった牛丼とスープでした。みんなで美味しくいただきました。

その後、区社協、区役所からいただいたお土産をかけて、区長とのジャンケン大会で盛り上がりました。

帰りは、地域の方々に送っていただきました。

なお、この取り組みについては、“横浜市長と語るう”で取り上げられ、8月23日には、市長を迎えての座談会が予定されています



バンビに

中学生がやってきた！



場 所 馬場地域ケアプラザ2F
多目的ホール
日 時 毎月第3火曜日
10:00~11:00
対 象 未就園のお子さんと子育て
中の方



小麦粉粘土
粘土作りから始めました



お兄ちゃん、これなーに？



七夕飾りを一緒に
作ろう！



今年度は、5、6、10、11、12月のバンビに
上の宮中学校の生徒さんが、家庭科の学習の一環
として参加しています。毎回、学習の目標を決め、
小さいお子さんたちとのふれあい方をいかにする
べきか真剣に向き合っている姿は、応援したくなり
ます。10月は絵本の読み聞かせに挑戦してもらう
予定です。

地域の相談役として・・・

地域の方々に安心して相談して頂けるような環境
づくりのため、研修にも力を入れています

障がい理解のための講座

7月13日（水）馬場地域ケアプラザで、精神障がいの理解講座～入門編～が開催されました。
鶴見区精神障害者生活支援センターの坂井優仁さん、村上李奈さんを講師にお招きして、講演をして
いただきました。生活支援センターの紹介や精神疾患・精神障がいについての説明を受けました。精神疾
患の総患者数はここ何年も増加傾向にあり、それは、精神科を受診しやすくなっていることも要因にな
っていることがわかりました。

精神疾患の症例としては、統合失調症であった画家ムンクの絵画の変遷を通して、病状の進行具合を
目に見える形で教えていただきました。

その後、具体的な事例やかかわり方のコツなどを、寸劇や参加者への質問を通して学びました。



精神疾患と精神障がいの違い・・・

精神疾患は、気分のおちこみや幻覚・妄想など心身の
様々な影響がでる病気のことです。精神障がいは、その
病気があることで生じてくる生活のしづらさなどのこ
とを言います。それらは、誰しもなる可能性があり、目
には見えにくいいため、理解されにくいのです。

真にせまる寸劇

熱心に受講

多くの関係機関の方々も参加

